

専門研修「中堅保育士」

【日 時】	第1回 令和2年10月26日(月)、28日(水) 9:00~17:00 第2回 令和2年11月9日(月)、10日(火) 9:00~17:00
【会 場】	特別区職員研修所
【受講者数】	131名(第1回、第2回合計)
【講 師】	東京立正短期大学 幼児教育専攻 専任講師 保育ファシリテーション実践研究会 主宰 鈴木 健史 氏 保育ファシリテーション実践研究会 代表 社会福祉法人 清遊の家 理事長 ひのか保育園園長 齊藤 真弓 氏 大妻女子大学 家政学部 児童学科 児童学専攻 准教授 石井 章仁 氏 東京家政学院大学 現代生活学部 児童学科 准教授 和田 美香 氏 一般社団法人 子ども安全計画研究所 代表理事 猪熊 弘子 氏 藤田・戸田法律事務所 弁護士 藤田 香織 氏
【研修内容】	<目的> 保育園運営の中核を担う保育士として、期待される立場と職務の重要性を認識し、保育の資質向上に関する専門知識及び支援策を習得することにより、職務遂行能力の向上を図る。 <内容> ①質の高い保育のための職場づくり ②保育所保育指針に基づいた保育者と保護者の関わり方 ③実践につながる指導計画 ④危機管理 ～子どもたちを危険から守るためには～ ⑤法的根拠書類としての視点に基づく 保育記録の取り方
【受講生の声】	・計画が子どもの姿に寄り添ったものだと、立案も楽しくなると感じました。寄り添った立案が自然とできるような工夫や意識をもてるようにしたいです。 ・日々の保育の中で起こりえる危険を目の当たりにして、身を引き締めて危機管理を行いたいと感じました。園全体ですぐにでも取り組むべき事項もあると捉え、戻ったら職場で発信していきたいです。 ・改めて自園の子育て支援を振り返るいい機会となり、また別の園の子育て支援についても意見を聞くことができ良かったです。保護者支援は考え方もそれぞれあると思いますが、保護者の思いに寄り添って対応していきたいと思っています。



<講義の様子>